

西区 札幌市議会議員

村山たくじ

発行所
札幌市議会議員
村山拓司
政務調査室

〒063-0832
札幌市西区発寒12条3丁目9番13号
TEL.011-668-5600
FAX.011-668-5601

村山拓司政務調査だより vol.3



平成29年度予算 一般会計 9,965億円

まちづくりの取組みを着実に実施

市の一年間のお金の使い方を示した平成二十九年度の予算が第一回定例会に提出されました。子育て支援や経済の活性化など、諸課題に着実に取り組んでいく堅実な予算編成をしています。私たちの暮らしに身近な事業を取り上げて幾つかを紹介いたします。

子育て世帯の負担軽減

三歳未満の第二子の保育料無料化

暮らしコミュニティ
子ども・若者を社会全体で育成・支援していく他、地域活動を活性化する環境づくりを進めます。

- ◆ 最も保育料の高い三歳未満の児童を対象に第二子の保育料を無料化し、経済的負担を軽減する。六億八千万円。
- ◆ 区保育・子育て支援センター（ちあふる）及び公立保育所の整備等に三億八千九百万円。
- ◆ 地域コミュニティに対する支援関連に九千五百万円。町内会活動などの地域におけるコミュニティの重要性を普及・啓発し、参加促進のためのきっかけづくり・連携・活動の場を整備、その支援事業等を実施していきます。
- ◆ 私立保育所等の整備補助関連に二十四億二千四百万円。私立保育所の新増改築、整備、認定こども園の整備、小規模保育所の整備等に補助をしていきます。



- ◆ ウィンタースポーツ塾事業に千六百万円。小学生を対象にフィギュアスケート等のウィンタースポーツを幅広く体験できる機会を提供し、すそ野拡大と競技力の向上を図っていきます。
- ◆ 文化芸術を初め、創造的な活動への支援や、食・観光などの魅力を国内外に発信し、経済の活性化につなげていきます。
- ◆ 企業立地促進に十五億円。雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、本社機能移転を初めとした企業の立地等を促進していきます。
- ◆ 冬季オリンピック・パラリンピック招致に三千五百万円。招致に向けて、オリンピックミュージアムガイドツアー、ワークショップなどを実施して気運醸成に取り組みます。
- ◆ 女性が輝くまちづくり推進に千万円。社会で活躍する女性が参画する官民協働の会議体を設置。女性の活躍を推進する施策等を調査・検討していきます。
- ◆ 就業サポートセンター等事業に一億七千七百万円。就業サポートセンター及び各区あいワークにおいて、ハローワークと連携した職業紹介を行い、高齢者向けのセミナーや求人開拓などにより、高齢者の就業を支援していきます。

生活道路の除排雪

排雪支援制度は今後も安定的に運用

平成二十九年度第一回定例会において、私は会派を代表して本会議に上程されている諸議案、諸課題について質問に立ち、市側に対応を求めました。四〇分という限られた中での質問でしたが、その一部を報告させていただきます。

無電柱化の推進

質 本市では都心部の緊急輸送道路など、防災機能の観点から電線・電柱の整備を進めているが、昨年十二月国会で無電柱化を推進する法律が施行されたことを踏まえ、今後どの様に無電柱化を進めていくつもりか。

答 無電柱化は着実に進めていくべき事業と認識しているが、多額の費用を要する事から、都市機能が集積している緊急輸送道路等を優先している。整備区域の拡大については、国が低コスト化に向けた技術マニュアルを策定中であり、その内容も踏まえ

代表質問

て検討していく。

除排雪事業の充実

質 生活道路の除排雪は市が、排雪は「除雪パートナーシップ制度」を活用し、地域と市が費用を負担し行っている。超高齢化社会を迎えた今日では、市民自らが行う雪対策は難しくなっている。市では「冬のみちづくりプラン」改定に向けた除排雪のあり方について議論されていると聞けが、今後、生活道路の除排雪をどうすべきと考えているか。

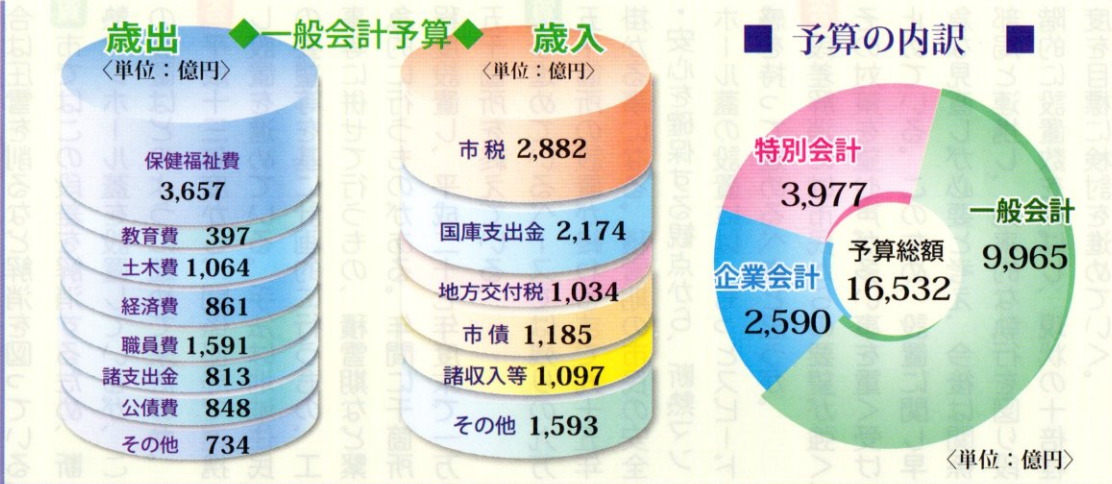
答 課題がある事は認識している。一方で生活道路の除排雪は地域と行政が協働で行う取組みとして広く定着してきている事から、今後もこの体制を持続し、課題解決に当たっては、排雪支援制度を安定的に運用していくよう検討していく。

流雪溝の管理運営

質 排雪に掛かる負担を軽くするための流雪溝は、平成元年の藻岩下流雪溝を皮切りに市内八か所において地域で利用されており、生活環境の向上や商店街の活性化にも貢献する有効な施設であるが、中には、高齢化により投雪する担い手不足や、沿線の空き家が増加するなど種々の理由により投雪されず、折角の整備効果が発揮されていない地域も散見される。このような流雪溝の管理運営について、今後どのように対応していく考えか。

答 流雪溝は施設の運転や維持管理を市が行い、排雪を沿線住民が行うなどして双

- ### 村山拓司プロフィール
- 1982年9月30日（戌年）札幌市に生まれる
 - 札幌市立新発寒小学校卒業
 - 札幌市立稲積中学校卒業
 - 札幌稲雲高等学校卒業
 - 光塩学園調理製菓専門学校中退
 - 参議院議員橋本聖子北海道事務所勤務を経る
 - 2015年4月札幌市議会議員に初当選
 - 市議会建設常任委員
 - 市議会冬季五輪招致・スポーツ振興調査特別委員
 - 自由民主党札幌広報副委員長
 - 自由民主党市民運動副本部長





答 文化芸術劇場においては、地元の舞台芸術を育て、作品を国内外に発信していく事を目指す。交流センターは、文化芸術活動を支援することで文化芸術の持つ創造性をまちづくりに活かしていくための拠点としていく。そのため、特に芸術劇場については、世界の舞台芸術に精通している人材を「芸術アドバイザー」に迎え、事業企画の充実を図っていく。

質 札幌市内の消火栓付近の除雪は、消防署員、地域や消防団の方々が定期的

質 今冬のように、早い時期にト力雪が来て、その後降雪が少ないと、顕著に見られるのが生活道路のマンホール部の段差です。人も車もこの段差をかわすのに大変苦労されている。今冬は特にその傾向が強く、段差に関する市民からの苦情・要望も多く寄せられている。この段差が生じないように、関係部局では、役割を分担し、断熱マンホール蓋の設置を進めていると聞くが、

答 断熱マンホール蓋の設置には、もっとスピード感を持って進めるべきと思うが。その対策を望む声が多い事を重く受け止めている。このため、設置に関し早急な見直しが必要と考え、今後は関係部局と連携し、効率的な執行を図り段階的に設置数を伸ばし、現状の十倍程度を目標に検討を進めていく。

質 今冬は十二月の記録的大雪の影響で幹線道路沿線の消火栓の中には、雪が覆いかぶさっている所もあり、消火活動の妨げとなるようなことは改善していかなければなりません。消火栓付近の除雪についての対応を伺います。

質 市ではこの段差を解消するため、断熱マンホール蓋を設置しているが、この設置はどのように進めて来たのか。
答 平成十三年度から、関係部局で連携し設置を進めている。手法は地域住民の要望等を基に計画的に行うもの、工事等に併せて行うもの、積雪期など緊急に行うものがある。年間に千箇所程度設置し、平成二十七年末で一万五千箇所を終えている。

マンホールの断熱ぶた 年間設置数を目標十倍に

平成二十九年第一回定例会「予算特別委員会」では、本会議より付託された諸議案に付き、委員として市側と質疑を重ねました。

消火栓付近の除雪

札幌市内の消火栓付近の除雪は、消防署員、地域や消防団の方々が定期的

マンホール断熱ぶた 年間設置数10倍に

定例札幌市議会では、2017年度予算案を審議する中で、マンホールの断熱ぶたの設置について、議員から質問がなされた。市長は、断熱マンホール蓋の設置を進めていると答えた。

マンホールの段差を改善

道路の除雪では、消火栓付近には雪を置かないよう配慮しているが、今冬は大雪の影響で一時的に消火栓が埋められたものと考えられる。今後は、これまで以上に気を配り除雪に務めたい。

質 市内には、まちづくりセンターに併設されていて、地域の連合町内会が市から貸付けを受けて運営を行っている「地区会館」が五六カ所、地区会館の無い所では、地域の方々が自主的に施設を建設し運営している「町内会館」が約二七〇館ほどあるとのこと。地域コミュニティの場として大きな役割を果たしてきている町内会館である

地区会館・町内会館のあり方

質 大規模融雪槽の設置は、雪堆積場を補完する施設として大変有効であると考えている。これまで下水処理水などの未利用エネルギーを使用し、住環境を考慮して整備を進めて来たところであるが、新たな施設の整備に向け現在熱源や周囲の環境などの課題を踏まえ、候補地を選定しているところ。



質 コミュニティ施設のトイレは和式が多く、高齢者の方々にとって利用しづらいとの声を多く聞く。大規模改修に合わせトイレの洋式化を進めるのは効果的な手法ではあるが、その機会が何年もある施設にとっては日常の利用のみならず、防災上の観点からも早急に整備する必要があると考える。市民の利用実態を踏まえ、個別改修を含めた

コミュニティ施設のトイレ洋式化を求め!!

代表 質問

が、老朽化した施設の建替えは勿論、社会的変化による地域ニーズも変り、施設の維持管理も難しくなってきた。このような現状に対して地区会館設置の在り方をどのように考えているのか。又、運営が困難な町内会館に対し、どのように評価認識し、今後どのようにしていく考えか。

答 地区会館が無い地域については、地域内の施設の利用や意向を勘案しながら、例えば小学校改築の機会を捉えて施設の複合化により、地区会館機能を確保していく事が適当と考える。町内会館については維持運営に大変努力されていると認識しており、費用の補助などを通じ、今後も支援していきたい。

質 新幹線ルート沿線の住民の皆さまからは、報道では様々な情報が取り上げられ、市内のルートが地下なのか、高架なのか、トンネルが何処から何処までなのかなど、明確な情報が得られ

北海道新幹線ルートの検討

スピード感を持って、計画的にトイレの洋式化を進めていく必要があると思うが如何お考えか。
答 市有施設は、保全改修等の機会に合わせてトイレを洋式化へと変更しており、コミュニティ施設においても同様と考えている。改修に掛かる経費や工事期間中の施設利用への影響等を踏まえると適当であると認識しているが、例えば、設備の故障による改修に併せるなど、個別に対応する事も検討していきたい。

市民交流プラザ

質 札幌市民交流プラザは「札幌文化芸術劇場」、「札幌文化芸術交流センター」、「札幌市図書・情報館」の三つの施設からなる複合施設ですが、竣工を来年迎えるに当たり、文化芸術劇場や交流センターでは基本計画を踏まえ、どのような取組みを行っているのか。



答 鉄道運輸機構では、市内ルートの地下化について事業費などを含め、詳細に検討しているところであり、市が沿線地域の生活環境への影響を極力少なくするよう要望してきた趣旨に沿ったものと考えている。沿線地域住民の方には説明会を開催し、検討状況をお伝えしているところであり、今後も丁寧な情報提供を行い、しっかりと取組んでいく。